

藏第七五號

昭和十六年九月二十二日

内務大臣官房會計課長

内務省警保局長 殿

陸海軍准士官以下ニシテ恩給ヲ受クル
者文官判任以上ニ任ゼラレタル場合ニ
於ケル俸給支給方ノ件

標記ノ件ニ關シ別紙甲號鐵道省經理局長照會ニ對シ乙號ノ通回答
ノ旨大藏省主計局長ヨリ通牒有之候條御了知相成度

内務省

規格 B. 5

内務省

規格 B. 5

旨大藏省主計局より前類事に對照候て略牘如次

據出、并ニ關之附則甲種鐵道許證裏面付照會ニ依リテ總額回舊
領へ小額餘文餘氏、并ニ

著文首段御以上ニ當セドノ又其總合ニ
關鉄道官員士官起止ニシテ恩給を受ヘシ
内務省主計局より前類事に對照候て略牘如次

大藏省主計局長

木 内 四 郎 殿

鐵道省經理局長 平 山 孝

(甲號) 鐵經會第四三〇號

昭和十六年七月二十八日

内務省大藏官員會指點要
關時十六年武月二十二日
處奉小正體

内務省大藏官員會指點要

内務省

内務省

内務省

内務省

内務省

内務省

内務省

内務省

明治三十三年勅令第百三十二號ニ所謂恩給トハ普通恩給ノミニテ
增加恩給、傷病年金等ハ之ヲ包含セザルモノト解シ居候へ共些力
疑義有之候ニ付御意見承知致度此段及照會候

蠻婢休將口舌嚼，莫教金玉落人間。

聞者三十里爭傳余集百里十二州。一聞齋恩錄十八書。讀恩錄之言。其

本
外
固
體

留殊十六年十二月十八日

卷之三

(甲 部)

(乙號)

昭和十六年九

昭和十六年九月一日

平山翠巒

大藏省主計局長 木内四郎

七月二十八日附經會第四三〇號ヲ以テ明治三十三年勅令第百三十
二號ノ解釋ニ關シ御照會ノ趣了承右ハ御見解ノ通解スルヲ妥當ト
破認候此段及回答候也

內務省